

# 第 10 年 度 事 業 報 告 書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

## (1) 重要な庶務事項

年 月 日	庶 務 事 項
令和 4.5.11	令和4年度第1回監事会 令和3年度(公益財団法人 岩手県水産振興基金 第9年度)決算に係る監査実施
4.6.2	令和4年度第1回理事会 第1号議案 令和3年度(第9年度)事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について 第2号議案 役員(理事)候補者の推薦について 第3号議案 令和4年度第1回定時評議員会の開催について
4.6.17	令和4年度第1回定時評議員会 第1号議案 令和3年度(第9年度)事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について 第2号議案 理事の補欠選任について 第3号議案 理事および監事の報酬の額について
5.3.10	令和4年度第2回理事会 第1号議案 特定費用準備資金の計画期間の延長について 第2号議案 令和5年度(公益財団法人岩手県水産振興基金 第11年度)事業計画の設定について 第3号議案 令和5年度助成事業に係る代表理事の利益相反取引について特定費用準備資金の計画期間の延長について 第4号議案 令和4年度第2回定時評議員会の開催について
5.3.24	令和4年度第2回定時評議員会 第1号議案 特定費用準備資金の計画期間の延長について 第2号議案 令和5年度(公益財団法人岩手県水産振興基金 第11年度)事業計画の設定について

## (2) 本年度末現在の役員

役職名	常勤・非常勤の別	氏名	所属機関・団体役職名
理事	代表理事	大井誠治	岩手県漁業協同組合連合会 代表理事会長
	業務執行理事	後藤均	〃 専務理事
	理事	柁屋伸夫	普代村 村長
	〃	森山拓也	岩手県農林水産部水産担当技監心得 兼水産振興課総括課長
	〃	伊東碩子	前 岩手県栄養士会 会長
	〃	梶原昌五	岩手大学 准教授
	計		(6人)
監事	監事	山内義彦	東日本信用漁業協同組合連合会岩手支店 統括支店長
	〃	鈴木潤一	岩手県水産加工業協同組合連合会 専務理事
	計		(2人)
合計		8人	

## (3) 本年度末現在の評議員

役職名	常勤・非常勤の別	氏名	所属機関・団体役職名
評議員	非常勤	大村益男	(一社)岩手県漁港漁村協会 専務理事
〃	〃	阿部教美	日本漁船保険組合岩手県支所 支所長
〃	〃	金野正明	全国漁業信用基金協会岩手支所 常勤監事
〃	〃	佐々木高	岩手県漁業協同組合連合会 常務理事
〃	〃	熊谷修	東日本信用漁業協同組合連合会岩手支店 執行役員
〃	〃	五日市周三	(一社)岩手県さけ・ます増殖協会 専務理事
合計		6人	

## (4) 本年度末現在の助成事業選定会委員

役職名	氏名	所属機関・団体役職名
委員長	佐藤教行	岩手県水産技術センター 首席水産業普及指導員
副委員長	遠藤敬	岩手県農林水産部水産振興課 主任主査
委員	田畑剛	岩手県漁業共済組合 業務部長兼推進課長兼審査課長
〃	高橋禎	(公財)岩手県漁業担い手育成基金 事務局長
合計	4人	

## (5) 事業の状況

本年度の国内の経済情勢は、前半は新型コロナウイルス感染症に係る政府の行動規制がなかったことなどから個人消費が底堅いものとなったが、物価高が経済活動の重しとなり、後半は引き続きインフレ傾向となったものの観光支援策や水際対策の緩和などから個人消費や外需がプラスとなるなど、全体としてはやや持ち直しの動きとなった。

一方、県内の経済情勢は、住宅投資や公共投資が弱い動きとなり、生産活動も一進一退となったが、個人消費は明るさが見られる展開となったほか雇用情勢も改善傾向で推移するなど、緩やかな回復の動きとなった。

本県の水産業においては、震災以降、主力魚種であるさんまや秋さけが深刻な不漁となり、養殖業においても、漁業者の減少や海況の変化等により、震災前の水準には戻らず厳しい生産状況となった。さんまについては、海洋環境の変化による資源量の減少に続き、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で遠い漁場での漁を余儀なくされたが、本県においては前年を上回る水揚げとなった。秋さけについては、過去最低を記録した昨シーズンの数量を上回ったものの、依然として深刻な不漁が続いている。海水温の上昇などが不漁の要因とされており、採卵数の落ち込みによるふ化放流事業への悪影響も懸念される。また、流通環境については、生産量の低迷などから高値で推移していたものの、食品をはじめとするあらゆる物の相次ぐ値上げにより、依然として消費の低迷が続きそれに伴う価格の下落が懸念される状況にある。

このような状況下、当基金においては、平成 26 年 1 月 21 日から公益財団法人に移行し、第 10 年度を経過したところであり、岩手県、市町村、漁業系統団体等の出捐金を基本財産として、その運用益により各助成事業の活動を支援することで、本県の水産業の振興安定に寄与してきた。しかしながら、基本財産運用においては、依然として地方債等の債券は歴史的な低金利が続いており、この先も金利面の上昇が期待できないことから、基本財産の一部を処分し積立てた特定費用準備資金を助成事業の財源に充てることで、本年度各事業の活動を支援した。

以上のとおり、本年度も従前同様の厳しい財務状況であったが、県当局をはじめ、関係団体等の理解と協力により、概ね円滑な事業推進を行うことができたことに対し、改めて深く敬意を表するものである。

(6) 助成事業実施内容

I 漁業振興対策事業・・・漁業青壮年組織の活動経費に対し助成。

I-1 漁業青壮年組織活動支援事業

助成団体	J F 岩手漁青連	1 件	112,940 円
	計	1 件	112,940 円

II 漁業取締対策事業・・・密漁の未然防止に資するべく、監視資材の作成に対し助成。

II-1 密漁監視資材作成事業

助成団体	岩手県漁業協同組合連合会	1 件	300,000 円
	計	1 件	300,000 円

III 漁業操業安全対策事業・・・漁船の海難事故防止と安全操業に資するべく、研修会の開催費用や啓発に係る資料・資材の作成費用に対し助成。

III-1 海難防止啓発事業

助成団体	岩手県漁船海難防止・水難救済会	1 件	62,350 円
	計	1 件	62,350 円

IV 漁業経営安定対策事業・・・小型漁船漁業の漁業調整及び入会調整に資するべく、漁業調整を行う組織の活動費に対し助成。

IV-1 小型漁船漁業経営安定対策事業

助成団体	岩手県沿岸漁船漁業組合	1 件	600,000 円
	計	1 件	600,000 円

V 水産公害対策事業・・・漁場環境の保全や養殖物の安全確保に資するべく、以下の事業に対し助成。

V-1 貝毒検査実施事業

助成団体	岩手県漁業協同組合連合会	1 件	3,000,000 円
	計	1 件	3,000,000 円

---

合	計	5 件	4,075,290 円
---	---	-----	-------------

## I 漁業振興対策事業実績

### I-1 漁村青壮年組織活動支援事業

#### 1. 事業の目的

県内の漁村青壮年活動組織活動の推進と漁業技術の改良、漁業後継者育成、食育の推進などを図った。

#### 2. 事業の内容及び経費の配分

##### (1) 事業の内容

事業主体名	J F 岩手漁青連
事業内容	<p>1. 令和4年度第1回監事会を開催した。 (令和4年9月6日(火) 釜石市、野田村)</p> <p>2. 令和4年度第1回理事会を開催した。 (令和4年9月13日(火) WEB開催)</p> <p>《協議事項》</p> <p>① 令和3年度事業報告及び収支決算について</p> <p>② 令和4年度事業計画及び収支予算(案)について</p> <p>③ 令和4年度会費(案)について</p> <p>④ 役員候補欠選任(案)について</p> <p>⑤ 令和4年度「通常総会」の開催について</p> <p>⑥ 第28回「漁村青年のつどい」の開催について</p> <p>3. 第28回全国青年・女性漁業者交流大会に参加 (令和5年3月1日(水)～2日(木) 東京都)</p>
摘要	

(2) 経費の配分

総事業費		211,454円
助成事業に要する経費	助成対象	112,940円
	対象外	98,514円
負担区分	基金助成金	112,940円
	漁業団体支援金	0円
	自己負担金	98,514円
	その他	0円

## Ⅱ 漁業取締対策事業実績

### Ⅱ－１ 密漁監視資材作成事業

#### 1. 事業の目的

あわび等の密漁監視に必要な資材を作成し、監視員へ配布することで、密漁防止体制の充実を図ることを目的とした。

#### 2. 事業の内容及び経費の配分

##### (1) 事業の内容

事業主体名	岩手県漁業協同組合連合会
事業内容	あわび開口時立会者用帽子を作製し、監視員等へ配布することで、密漁防止体制の充実を図った。
摘要	

##### (2) 経費の配分

総事業費		880,000円
助成事業に要する経費	助成対象	880,000円
	対象外	0円
負担区分	基金助成金	300,000円
	自己負担金	580,000円
	その他	0円

### Ⅲ 漁業操業安全対策事業実績

#### Ⅲ－１ 海難防止啓発事業

##### 1. 事業の目的

本県に帰属する漁船の海難防止と安全操業の確保及び予防・水難による人命・船舶の救済などにより本県海上産業の発展等を図ることを目的に、以下の事業を積極的に推進した。

##### 2. 事業の内容及び経費の配分

###### (1) 事業の内容

事業主体名	岩手県漁船海難防止・水難救済会
事業内容	1. 第1回理事会の開催(令和4年6月2日(木) 盛岡市)
摘要	

###### (2) 経費の配分

総事業費		2,115,847円
助成事業に要する経費	助成対象	62,350円
	対象外	2,053,497円
負担区分	基金助成金	62,350円
	自己負担金	2,053,497円
	その他	0円



## IV 漁業経営安定対策事業実績

### IV-1 小型漁船漁業経営安定対策事業

#### 1. 事業の目的

いか釣漁業、かご漁業及び船曳網漁業等の操業調整指導を行い、小型漁船漁業の経営安定化を図るための事業を行った。

#### 2. 事業の内容及び経費の配分

##### (1) 事業の内容

事業主体名	岩手県沿岸漁船漁業組合
事業内容	① 小型漁船漁業の操業及び許可承認等に関する調整 ② 他県との入会操業に関する調整 ③ 他種漁業の競合、または紛争処理に関すること ④ 安全操業及び海難防止に関すること ⑤ 営漁指導に関すること ⑥ 漁海況情報を提供すること

##### (2) 経費の配分

総事業費		3,600,000円
助成事業に要する経費	助成対象	3,600,000円
	対象外	0円
負担区分	基金助成金	600,000円
	市町村費	0円
	漁業協同組合費	0円
	自己負担金	3,000,000円

## V 水産公害対策事業実績

### V-1 貝毒検査実施事業

#### 1. 事業の目的

貝毒検査を実施するなど貝毒対策を講じ、ほたてがい養殖業の安定と安全流通の確保を図った。

#### 2. 事業の内容及び経費の配分

##### (1) 事業の内容

事業主体名	岩手県漁業協同組合連合会
事業内容	ほたてがい貝毒検査を定期的を実施し、円滑な出荷体制と安全流通を図った。 麻痺性貝毒 535回 下痢性貝毒 293回

##### (2) 経費の配分

総事業費		14,007,500円
助成事業に要する経費	助成対象	14,007,500円
	対象外	0円
負担区分	基金助成金	3,000,000円
	漁協負担金	6,807,500円
	自己負担金	4,200,000円
	その他	0円

※上記金額は消費税抜き